

2009年 3月 4日 11時08分

MAX知財産G

NO. 3578 P. 5/9

公開実用 昭和63-193107

JP-UM-A-NO. 63-193107(5/)

① 日本国特許庁(JP)

② 実用新案出願公開

③ 公開実用新案公報(U)

昭63-193107

④ Int. Cl.:

識別記号

庁内整理番号

⑤ 公開 昭和63年(1988)12月13日

F 16 B 15/08

G-8312-3J

審査請求 未請求 (全 頁)

⑥ 考案の名称 接着剤付きホチキス針

⑦ 実 願 昭62-84464

⑧ 出 願 昭62(1987)5月30日

⑨ 考 案 者 関

敏 彦

千葉県松戸市初富飛地7-9 ハイムタウンA-1-3

⑩ 出 願 人 関

敏 彦

千葉県松戸市牧の原2-99-21

1/5

JP-UM-A-NO. 63-193107 (6/)

明 細 書

1 考案の名称

接着剤付きホチキス針

2 実用新案登録請求の範囲

ホチキス針の裏面に接着剤を付けたことを特徴とするホチキス針。

3 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案はホチキス針に係り、食料品、衣料おもちゃ等、開封を伴うパッケージなどに用いられているホチキス針に関する。

〔従来の技術〕

一般に事務所やお店において、とじ目的で用いられているホチキスは知られている。ホチキスは針の先を曲げといるのであるが、食料品や子供のおもちゃ等、開封を伴う物品においては、開封時ホチキス針の先の曲りがまっすぐにもどり離脱して落ちることがある。その結果例えば枝豆、みょうが、ホウレン草などの野菜や駄菓子など

65

(1)

実開63-193107

2/5

公開実用 昭和63-193107

JP-UM-A-NO. 63-193107 (71)

どの食料品類においては、食品に混入して
口の中に入ったり、食料品以外でも床に落ち
足にささったりするという問題点があった。

〔 考案が解決しようとする問題点 〕

そこで本考案の目的は、前記問題点を
解消し、食料品やその他用封を伴なう物品
にホチキス又はそれに類したとじ針を使う
場合、容易に脱離しないホチキス針を提供
することにある。

〔 問題点を解決するための手段 〕

前記目的を達成するために本考案は、ホチ
キス針の裏面すなわちとじようとする物に接
触する面に接着剤を設けたことを特徴と
するものである。この裏面の接着剤により
針ととじようとする物は接着し、はかす時
針の曲りがのび、まっすぐになった時でも針
は容易に離脱しないことになる。

〔 実施例 〕

以下本考案による接着剤付きホチキス針
をオ1図よりオ4図を参照して説明する。

JP-UM-A-NO.63-193107 (81)

オ1図は一般に用いられているホチキス針の
図である。オ2図はホチキス針でとじた部
分の断面図でaはとじた状態を示し、bは
開放し先かのびきった状態を示す。このbの
状態において離脱することになるので離
脱しない様接着しようとするものである。

オ3図は本考案の接着剤付きホチキス針の
図である。図において接着剤は「」形を
したホチキス針の内側上部に付いている。
接着剤は長期間 空気にさられると接着効果が
低下するので一般に用いられているように保
護紙によりカバーするものとする。これはホ
チキスに装着する時点ではがして装着するよ
うにする。オ4図はオ3図 A-A' 断面であ
る。

4 図面の簡単な説明

オ1図はホチキス針の図、オ2図はとじ
た状態(a)と開放した状態(b)の断面図、オ
3図は本考案の接着剤付きホチキス針の図
オ4図はオ3図 A-A' 断面図である。

実用新案登録出願人 関 敏彦
(3) 67

4/5

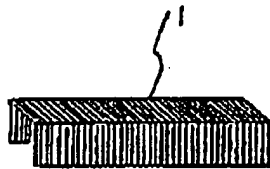
公開実用 昭和63-193107

JP-UM-A-NO.63-193107

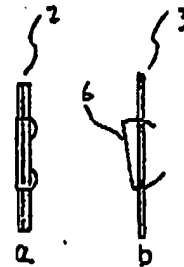
(9/)

図 面

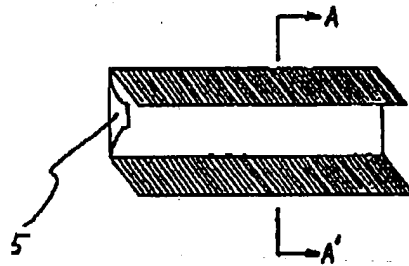
- | | |
|------------|-----------|
| 1. ホチキス針装図 | 2. とじ台状態図 |
| 3. 開封状態図 | 4. 接角部 |
| 5. 保護紙 | 6. ホチキス針 |



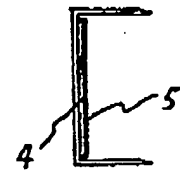
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図